

## ○中学生への話

今年(H18)の3月に、青海中学校2学年全員を前に「地域の人に学ぶ」シリーズの最終回で、「地域の親として子ども達に望むこと」「地域の企業が必要とする人物」というテーマで、企業人として話をさせていただいた。

その時に3つのキーワードを上げて話をしました。

◆「分」      ◆「公共」      ◆「覚悟」

このうち、今回は**中学生の「分」**について取り上げてみます。

## ◇中学生の「分」

人生の中で、成長に応じ、修行の過程に応じて「分」があり、当然変化する。

- |                |                      |
|----------------|----------------------|
| ①人生の過程、段階での「分」 | 小学生、中学生・・・、社会人       |
| ②一つの世界の中での立場   | 会社の役職、学校での学年、部活の先輩後輩 |
| ③お互いの関係        | 師弟関係、教師と生徒、親と子、兄弟    |

**中学生の「分」**とは何か。

一人前の人間に成長するために

- |                      |   |   |
|----------------------|---|---|
| ①親の庇護の元で             | } | 人間(人格)形成の重要な段階<br>= 「修行中の身」<br>= <b>一人前ではない</b> ということ |
| ②勉強(学習)し      (知)    |   |   |
| ③道徳心を養い      (徳)     |   |   |
| ④体を鍛え            (体) |   |   |
| ⑤友達と関わり友情を育む         |   |   |

そして、中学生生活の3年間は、人生の大切な「二度と戻らない時間」なのです。中学生の感想文を読むと、「自分は一人前だと勘違いしていた」と書いていた生徒が多くいました。「分」という考え方は、全くと言っていいほど彼らの頭の中にはなかったようです。これは誰の責任でしょうか。親の責任であり、社会全体の大人の責任です。

「分」をわかまえることにより、今何をなすべきかがはっきりしてきます。何をしなければいけないか、何をしてはいけないかが次第に明確になります。

「〇〇君の家ではいいのになぜうちでは駄目なの?」「誰にも迷惑を掛けないからいいじゃない」といった屁理屈に終止符を打つことが出来るでしょう。

「今の時間が大切」だから、「今を楽しく生きたい」という考え方がありますが、「人生は一度しかない」「時間は二度と戻らない」ということを考えてみると、「楽しい」「楽しくない」だけで人生を語ることは出来ません。

成長した自分が人生を振り返った時に「後悔しないで済む人生、(ある程度)満足できる人生」を送るためには「向上心」が大切です。そして、それには「我慢」ではなく「辛抱」することが大きな意味を持ちます。

「辛抱」 環境の苦しさには押し流されなくて、向上心を持ち続けること。

「我慢」 精神的・肉体的に苦しい事があっても、意地で凌(シノ)ぎ通し、弱音など吐かないこと。

こうして、修行の段階では「辛抱」をし、向上心を持って努力を重ね、人格を形成して、社会で必要とされる人材になって欲しいと願います。